



2015 No.57



巻頭特集

Asato Shizuki Self Produce Live  
**THE PRAYER IX**



巻頭特集

Asato Shizuki Self Produce Live  
**THE PRAYER IX**

西村由紀江さんのピアノ、溝口肇さんのチェロに姿月あさとのボーカルをのせた3ピースユニットによるライブパフォーマンス「THE PRAYER IX」。

10月7日の名古屋ブルーノート2公演、10月9日のビルボードライブ大阪2公演を経ての東京公演、11月21日サントリーホール小ホールのライブレポートをお届けします。





自分のことをもっと好きになれるように  
いくつもの涙を流して生まれ変わろうと思う



- THE PRAYER IX 曲目
- M1. 80日間世界一周
  - M2. オー・ソレ・ミオ
  - M3. 男と女
  - M4. ゴッドファーザー
  - M5. 約束の花束
  - M6. 異邦人
  - M7. 君は薔薇より美しい
  - M8. 夢を追いかけて～藍のテーマ～  
(ドラマ「101回目のプロポーズ」より)
  - M9. 世界の車窓から
  - M10. 夢
  - M11. アヴェ・マリア
  - M12. カヴァレリア・ルスティカーナ  
(ENCORE)
  - M13. ミランケライ
  - M14. 夜明け



神秘的な音色の打楽器「UFO」を演奏。



笑顔で客席に応える西村さんと姿月。



MCの中で姿月の口から「急性上気道炎」を告白。



音の響きが美しい「サントリーホール」。



左から、西村由紀江さん(pf)、姿月あさと(vo)、溝口 肇さん(vc)

## クラシックの殿堂で 輝くパフォーマンス

「音楽で世界を旅する」をコンセプトに組まれた今回のライブ・セットリスト。

西村由紀江さんと溝口肇さんによる「80日間世界一周」で「THE PRAYER IX 東京公演」がスタートした。

続いての「オー・ソレ・ミオ」で姿月登場、力強く歌い上げた後でまずは客席への挨拶とメンバー紹介。

今回のライブではユニット構成から「クラシカルな音作り」を目指したそうだが、さすがにクラシック専門のコンサートホールであるサントリーホールでは、名古屋・大阪会場と比べて、楽器の響きが圧倒的に違うと3人のメンバー共に同じ感想を述べる。他の会場の公演も御覧頂いたお客さまもそんな印象を持たれたらどうか。

続いて映画音楽から「男と女」「ゴッドファーザー」「約束の花束」の3曲を披露した後、姿月本人の口から11月の初めからつい数日前まで「急性上気道炎」という喉の病気を患い声を出せなくなってしまうという事実が語られた。客席はしんと鎮まり彼女をいたわる空気が流れたが、

のクラシック曲3作で一旦終了。

## あらためて気付いた大切な「自分」

降壇した3人はアンコールを望むファンの拍手で再びステージに、ここで姿月は、病氣体験を経て自らの胸中に生まれた想いを静かに語り出した。

当日の何度かのMCコーナーでも「私には西村さんや溝口さんの様に人に誇れる才能が無い」と冗談めかして語っていた姿月だが、それは病氣で声を出せなくなった時に本気で感じてしまったことだそう。

「ヴォーカリスト」というアイデンティティを失くした時、自分には何が残るのだろうか？ いや、今までの自分は歌うことで何かを成し遂げることが本当に出来ていたのだろうか…？

そして幸いに喉が回復した時、これからは悔いを残さずに、その時に自分が出れることをコツコツと真剣に積み重ねていくことだけが「姿月あさと」を表現できる唯一の方法なのだと、あらためて気付いたのだと言う。

そんな静かな決意と共に歌われたアンコール・ナンバーは「ミランケライ」、そして「夜明け」。

姿月の想いを受け取ったファ

病氣による「筆談生活」の中で可笑しなエピソードの披露にファンは大ウケ、再びリラックスしたムードを取り戻した。

ジャパニーズ・ポップスからセレクトされた「異邦人」と「君は薔薇より美しい」は、どちらも姿月のコンサートではお馴染みのナンバー。

「異邦人」の曲中では姿月が「UFO」という不思議な楽器の演奏を披露した。

この楽器は西村さんの私物だそう、なんとも言えない音色と面妖な有り様(笑)に、姿月はすっかり心を奪われてしまったそう。

続いては、大ヒットしたトレンディドラマ「101回目のプロポーズ」の劇伴(劇中曲)「夢を追いかけて」のテーマ、そして誰もが耳にしている隠れた名曲「世界の車窓から」。

この2曲は実はそれぞれ西村さん、溝口さんの作品で、姿月のボーカルが重なることで更なる魅力が生まれたのではないだろう。

世界中の様々な風景、シーンを切り取って見せてくれた「音楽の旅」は、「夢」「アヴェ・マリア」「カヴァレリア・ルスティカーナ」

ンの皆さんが、スタンディングオベーションで姿月へ想いを送り返す。

涙ぐむ方も大勢見られる中、会場は温かい空気で満たされ、コンサートは幕を閉じた。



**ザ・プレイヤーIX**  
チャペルクラシックス  
開催決定!!

Asato Shizuki Self Produce Live  
**THE PRAYER IX**  
*Chapel Classics*

2015年3月20日(金)  
品川グロリアチャペル

出演:姿月あさと(vo)、西村由紀江(pf)、溝口 肇(vc)  
日にち:3月20日(金)  
会場:品川グロリアチャペル 時間:開場14:00/開演14:30  
料金:¥9,000(税込)  
一般発売:2015年1月31日(土) 各種プレイガイドにて発売予定  
お問合せ:アイズクルー 03-5405-2477(平日13:00~17:00)



ミュージカル「リズムミックスタウン」



**誰もが守られている…  
愛の町に響く姿月の歌声**

2013年に続いて姿月が  
主役「リン」を演じるリズムミッ  
クタウン。  
2014年は劇中と同じク  
リスマスイヴからスタートす  
るロマンティックな公開、新国  
立劇場小劇場で全8回の公演  
となりました。  
数日前までの辣腕弁護士役  
から一転、可愛い子供達に  
囲まれた姿月は優しい母親役  
も雰囲気ぴったりでこなしま  
す！これだけ両極端な役(性別  
すら違う!)を同時期に演じる  
ことが出来るなんて、シカゴと  
リズムミックスタウンを両方観  
になったファンの方は、姿月の役  
者としての才能の凄さに今更  
ながら気付かされたのではな  
いでしょうか。



姿月が歌う劇中歌も、今回  
は新曲が加わりさらに魅力アッ  
プ！  
芝居も歌唱も堪能できる、  
ファンにとって最高のクリスマ  
スプレゼントになりました。

ブロードウェイミュージカル「シカゴ」宝塚歌劇100周年記念OGバージョン



出演者用の稽古ジャージ背中(姿月所有)



読み込まれたCHICAGO台本(姿月所有)



【撮影＝宮川舞子／岩村美佳／引地信彦】

**いかがわしきダンディ！  
姿月ビリーに魅了される！**

今年、ついに本公演が封切られた  
ミュージカル「シカゴ」。  
メイン3役のキャスティングを様々  
に替えながら東京、大阪、愛知で開催さ  
れ、大評判のうちに12月19日の東京凱  
旋公演でフィナーレを迎えました。  
ジェンヌOG達が織りなす妖艶な舞  
台を、Cubzの皆さんもご堪能い  
ただいたことと思います。  
皆さんが大きな期待を寄せていた姿  
月あさと演じる弁護士ビリー・リン！  
まさにハマリ役と言えるさすがの演技  
でした。  
公演初期には澁刺とした印象が強  
かったビリーが、大阪 愛知公演を経て  
の東京凱旋の舞台では、手練手管を弄  
する弁護士のいかがわしさをたつぷり  
と纏っていた様に、さらにビリーが練  
れた印象を記者は持ちましたが皆さ  
んはいかがでしたでしょうか。  
写真の台本は姿月個人のもの！読み  
込まれたその様が、丹念に姿月ビリー  
が作り上げられていった事実を語っ  
ています。  
そしてもう一枚の写真ですが、こちら  
は出演者用の稽古ジャージです。  
宝塚100周年記念公演にちなん  
で、宝塚のモットー「MODESTY  
(清く) FAIRNESS (正しく)  
GRACE (美しく)」が背中にプリン  
トされています。これはファンクラブの  
皆さんだけが知ることのできる貴重な  
トリビアですね！  
こうして作り上げられた素晴らしい  
舞台から、姿月はまた新しい魅力を  
ファンに届けてくれました。